

東海ブロック交流会に参加して

中濃支部 林 八重子



岐阜県版
第411号
2024年10月15日

治安維持法国際同盟
岐阜県本部
〒500-8879
岐阜市徹明通7-13
岐阜県教育会館308号室
Tel 058-252-5366
振替00840-2-88638

私たちの運動の基本
ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法である事を認めること
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に、謝罪と賠償をおこなう事

数年前、熱海で開かれた全国女性交流集會に参加しました。田村智子さんの話がとても共感でき一緒に参加した人とも親しくなり、毎月学習會で集まっています。国賠同盟は入っていても會費を払い署名を出すだけの會でしたが、伊藤千代子の映画會の取り組みや、みんなであつて話していると大事な會になつてきました。今回の学習會では、「治安維持法とは何かー戦争をする国にしないために」と題したテキストを使つて学習しました。

国賠同盟の吉田万三會長は、この本で次のように

書かれています。

2025年は、治安維持法が制定・施行されて100年目です。戦争へと突き進んだ当初の20年と敗戦後の80年です。

国の将来を想い、国民の幸せを願つて、果敢に「戦争反対」の声を挙げた人たちは、治安維持法で弾圧されました。拘束され、罰せられ、裁判にもかかけられず拷問により虐殺された人も多数にのぼります。この人立ちへの謝罪も賠償も名誉回復もなく、調査すらしないままに戦後の80年が経過し、直接的当事者もいなくなつてしまつています。今では、治安維持法を知らない人も多くなつています。

- ①治安維持法とはどのような物だつたのか。
- ②戦争国家としての弾圧体制が不可分のものであつたことは、現在の「新しい戦前」と言われる大軍拡による戦争国家づくりと極めて類似している。
- ③この治安維持体制を推進した特高警察

幹部をはじめ思想検事や軍関係者たちが、何の反省もなく、素知らぬ顔で復活し、現在の自民党政治を動かしている。

④デジタル化され、リニューアルされた治安維持法体制は決して昔話ではなく、日本が明るく自由な社会へと進んで行くためには避けて通れない問題である。

等々について、学習を深めてほしいと願っている。(次ページへ)

初である。国家の名義で本国民は、國家の達成することを誓ふは理想と目的を達成すること

第二章 戦争の放棄

九条 「戦争の放棄、戦力の不保持、交戦状態の永く平和を維持するを誓ふ」

本国民は、主権を行使する権利を行使し、平和を維持する権利を行使する。武力に訴へることは、平和を破壊する。平和を維持するため、陸海空軍は武力の行使を放棄する。平和を維持するため、戦争は、平和を破壊する。平和を維持するため、戦争は、平和を破壊する。

テキストを読み返してみると知らないことが
いっぱいありました。

ポツダム宣言は「日本国政府ハ日本国民ノ
間ニオケル民主主義的傾向ノ復活強化ニ対
スル一切ノ障礙ヲ除去スベシ言論、宗教及思
想ノ自由、並ニ基本的人権ノ尊重ハ確立セ
ラルベシ」と規定しました。しかし、敗戦直後
に成立した内閣は「国体の護持」を第一の目
的とし、特高警察や治安維持法などの弾圧
期間や法令を維持し、特高の活動は活発に
続けられ敗戦直後の裁判では、死刑の求刑、
無期懲役の判決を受けた例すらありました。
時の内相は、「思想取り締まりの秘密警察は、
現在なお活発に活動しており、反皇室的宣
伝を行なう共産主義者は容赦なく逮捕す
る。」とポツダム宣言に真つ向から挑戦する発
言をし、GHQは、治安維持法の撤廃と政治
警察の廃止・すべての政治犯の10月10日ま
での釈放を命令しました。等々

知は力です。学習し、声を上げられる今だ
からこそ言いたいと想います。



「戦争撲滅ノ為奮闘セヨ!!」—東海フロッ ク交流会に参加して—

中濃支部 水越 甲子

この表題は、戦争が迫
り来る時代に山本宣
治が自宅の壁に大書し
て、これを座右の銘とし
て戦争反対の抵抗活
動をしたのだそうです。

わたしは、交流会初
日に、国賠同盟中央
本部事務局長で、東京
山宣会の会長でもある
長嶋民男さんの講演で
知りました。私は、この
言葉は今、私たちに向
けられているように感じ
ました。戦争撲滅は人
類の悲願でもあります。
簡単にゆかない難しい
課題でもあります。だ
からこそ次世代につな
いでいくことが不可欠な
のでしょう。とりあえず
「戦争は、してはいけな
い」このことだけでも広
げていきたいと想います。
私は山宣のことを詳
しく知りませんでした。

講演や、本で、山宣は、「産めよ増やせよ」と
いう時代に、産児制限の活動もしていた性教
育のパイオニアでもあったことや、生物学者を
目指していたこと、竹下夢二の理解者でもあつ
たこと、また来日したアインシュタインに、ドイ
ツの生物学者の「戦争の生物学」の翻訳本の
序文を依頼して書いてもらったことを知り、
山宣の魅力を深めることが出来ました。
参加者も超高齢ですが、皆さん明るくお
元気でビックリでした。



東海ブロック交流会に参加して

西濃支部 染矢 君子

今回は一緒に参加予定だった岡崎さんご夫婦が体調不良で、西濃からは私一人の参加となりました。各地からの報告や講演を聞く中で、これらの国賠同盟のやり方に少しヒントを頂きました。

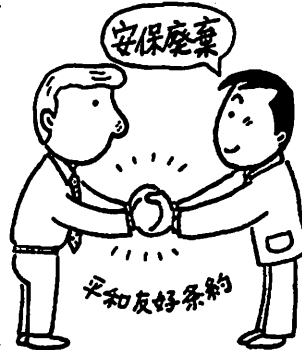
若山中央本部事務局長のお話で、来年は治安維持法ができ100年になると知りました。第一次大戦が始まり、その中でロシア革命が起き、各地で小作争議や労働争議が起きる中、日本共産党が結成されました。

権力者側はいかに体制維持を図るかが大事な柱になりました。その中で数々の運動への弾圧をしてきました。そういう中で治安維持法ができ、多くの人々を弾圧、拷問、そして虐殺をくり返してきました。

私は、来年の治安維持法制定100年をもっともつと多くの人に知らせ、「二度と戦争はしない」ことを旗印にしている国賠同盟の存在

を知ってもらうことが大事だと思いました。西濃地区では、同盟は何か高齢者&ちやうと暗い感じのイメージが強いように思います。もう少し明るく、若い方も入っていただけて少しでも魅力ある団体の一つになればと思います。

来年は、悪法治安維持法が制定されて100年。大軍拡にひた走る自公政権。この危険な状況の中、色々なグループ・団体の方々と一緒に、



東海ブロック交流会に参加して

岐阜支部 丹羽 一哲

愛知県蒲郡市の竹島ホテルにて九月八日〜九日開催された東海ブロック交流会に久しぶりに参加させていただいた。その感想を求められたので、強く印象に残った点について二

三記してみました。
初日の講演、「山本宣治の生涯」と「全国の高校歴史教科書選択状況」はまず強く記憶に残っています。

山本宣治は、温厚な生物学者だったが、なぜ政治家になったのか。「強い者が正しい」「戦争は避けられないというダーウィニズムとそれの導く理論のウソに気づいた点。これを人々に伝えるのが自己の本来の務めと考えたのが出発点であるという。

労働党の唯一の国会議員としての活動は感動的だ。その演説は、官権をたじたとさせるため、幾度となく「弁士中止」の声で中断される。国会議員のパスポートで、全国の労働団体や女工の集まりに駆けつけ、五万回も駆け参じた。議員だけあって、権力も小林多喜二のように引つ捕らえて殺すことはできなかった。一人の右翼の暴漢に殺されることにする。

来年は「治安維持法」施行百年だそうだが「教科書問題」で注目したのは、文部科学省の偏向した教科書検定制度のもとでもまともな教科書が合格しており、全国のいくつかの学校で選択されていることです。

とくに、一九三〇年代の「太平洋戦争」に向かう治安維持法体制の「凄まじい国民弾圧」の実相を多面的に記述するものに「学舎

(またび)の教科書があるが、残念ながら公立校の選択はゼロという。採用しているのは有名国立、私立大学の附属校であり灘校などの有名校に過ぎないという。考えさせる現象ではないだろうか。

大広間での夕食会は、美味で豊富な料理もさることながら、懐かしい「労働歌」などを全員で歌ったのが楽しかった。「赤旗の歌―聞け万国の労働者・」などは何十年ぶりに聴いた。同盟の人たちとの語らいも楽しかった。

最後に、この組織に結集する皆さんの表情の確信に満ちた明るさは、拷問にうって倒れた人々の名誉回復無くして日本の明るい未来は到来しない事実をしつかり捉えておられるからだと思います。歴史修正主義に対峙するには、大多数の国民が昭和の初期に何が起ったかを、正しく認識するしかありません。そのもとで、わが国に真の平和と民主主義が確立するでしょう。



2024年9月14日付け「しんぶん赤旗」より

公安の住民監視「違法」

大垣警察市民監視事件 全国初の判断

名古屋高裁

風力発電計画について学習会などを開いていた市民4人の個人情報、岐阜県大垣警察署の警備課(公安警察)が電力会社に提供し、監視の協力者として情報収集させた「大垣警察市民監視事件」で、県や国に損害賠償や個人情報の抹消を求めた控訴審の判決が13日に名古屋高裁でありました。長谷川恭弘裁判長は「収集目的自体が違法。社会的相当性がない」として、公安警察による個人情報収集、保管、外部への提供のいずれも違法として、県に100万円(二審は55万円)の賠償と、収集され電力会社との議事録に



画期的判決を支援者に報告する山田昇雄団長(左端)と原告ら=13日、名古屋市

記載された原告の個人情報、公安警察による情報収集を違法としたのは初めて。個人情報を抹消を命じたのも初

↓関連面
原告弁護団によると、公

一審の岐阜地裁判決は、電力会社への情報提供について「悪質」として違法としたものの、公安警察の収集・保管については「原告らに関する情報収集等をする必要性があったことは否定できない」として違法とはしませんでした。また、警察庁と県警が持つ被害者4人の個人情報抹消請求については却下していました。

控訴審判決は「電力会社への情報提供行為や、原告らの情報収集及び保有はいずれも違法ないし著しく社会的相当性を欠いた不当な目的で行われた」としました。

判決後の会見で、原告の近藤ゆり子さん(75)は「望みうる最高の判決」と笑顔を見せました。

田口 進さんより

「戦前の日本」はまだ書くつもりでありますが、10月号に間に合うように書けませんでした。

不屈の原稿には、どうかと思いますが、私が出しました「神坂物語・木一本、首一つ」を「戦中の日本」の代わりの原稿としていただければ幸いです。

神坂物語

1

恵那支部 田口 進

「木一本、首一つ」

日本列島のほぼ中央に中央アルプスと呼ばれる木曾山脈がある。東側を天竜川、西側を木曾川が流れ、この長い山頂部は二つの河川の分水嶺となっている。恵那山はこの山脈の最南端に位置し、海拔二一九一メートルあり、日本百名山の一つでこ

れ以西にはこの高さを超える山はない。

恵那山は南北に細長く、見る場所によつてさまざまな形に見え、古来西側から見た人達は舟伏山と呼び、落合や馬籠からは真正面に見え巨大な姿をした大きな山を人々は大山（たいさん）と呼んだ。

この山の深い森林地帯をいくつもの支流

が流れくんだり、曲がりくねったところどころに深い淵を作っている。

中でも最大の淵は釜ヶ淵だった。昔からこの淵には「主」が住んでいると言われていたがそれを見た者はいなかった。こゝは湯舟沢川と釜沢川が合流する所で水量も増え、流れも強く岸壁がせり出した川底は薄暗く底の方はどうなっているか分からなかった。

〈一〉釣師仙助

中山道釣師仙助は、いつものようにわらじを履き、カルサン、筒袖、頭には桧笠をかぶり、腰には竹で編んだ魚籠をぶらさげ釣り竿をかついで落合の宿場、旅籠屋、木賃宿、一膳飯屋をのぞいて「岩魚」の注文を取って歩いていた。

魚釣りの名人と言われている仙助は注文を受けただけ釣るという評判の男である。茶屋女達が「お休みなされ、寄つていかんしょ、出来たての三文餅がうまいですよ」と往来を行きかう人々に声をかけている。

（三文餅とは米の粉なの餅に黒砂糖を煮詰めて塗った落合宿の名物で、これを売った越前屋の裏の井戸からは黄金が湧き出ると言われていた。（郷土史より）



江戸時代、落合宿は中山道が整備され京都へ江戸への通行人が多く、又この頃から盛んになった善光寺参りや御嶽信仰の講の人達で宿場は活気に満ちていた。

仙助は頭の中で今日の注文数の岩魚をどの川のどの淵で釣るか長年の勘でいたい見当をつけて、この日は湯舟沢川に入るつもりでいた。古来この谷すじは断崖絶壁が続き人々の通行をさえぎっていた。

仙助は、細い獵師道を通って釜ヶ淵の崖っぷちを歩いていった。すると岩のくぼみで陽なたぼっこをしていた大きなへびが驚いて川に飛び込み淵を横切ろうとして水面をくねくねと泳ぎだした。と、その時深い淵の底から一筋の魚映が線を引くように光った。

ガバツと水面に跳ね上がった魚は三尺を超えてるであろうと思われる巨大な岩魚であった。仙助は思わず「奴だ」と叫んだ。岩魚は一瞬へびをくわえろと深みにもぐり込んだ。昔からこの淵の「主」を見た者は熱を出して寝込むという言い伝えがあった。

まぼろしの岩魚を見た仙助は胸がドキドキし、しばらく興奮が冷めなかった。
「今日の注文の魚をなんとかしなあかん」と

思い湯舟沢川の溪谷をさかのぼって糸をたれて魚の当たりを待ったがさつぱり釣れない。「おかしいな」と思っているうちに頭がふらふらして「これはいかん」と釣竿をたたんだ。はるか西の方にあつた雨雲が急に広がり落合の空が薄暗くなってきた。

ポツリポツリと降り出した雨は家に着く頃に急にどしゃ降りになった。

急いで家にとび込むと田んぼの草取りでもしとったんのか泥だらけの顔のかかあと鉢合わせした。

素早く「魚籠」をのぞき込み「お父ー今日は釣れなんだか」と大きな声で叫んだ。

仙助はその晩から高い熱が出て寝込んだ。

(つづく)

